

令和7年(2025年)6月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年6月 数 量 (千トン)	2025年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	千葉県産中心の入荷でした。全体的に小玉傾向で、高温の影響もあり品質低下もあったため、単価が伸び悩みました。前年に比べて数量は平年並み、平均単価は安く推移しました。	404	214	100%	86%
2		キャベツ	千葉県産・茨城県産中心の入荷でした。数量は減少、平均単価は安く推移しました。	786	76	83%	87%
3		ト マ ト	北海道・東北産地の入荷が遅れたため、数量減となりました。数量はやや減少し、平均単価は横ばいに推移しました。	279	333	93%	99%
4		レ タ ス	長野県産中心の入荷でした。数量はやや増加し、平均単価は横ばいに推移しました。	289	153	103%	103%
5		たまねぎ	香川県産・佐賀県産・和歌山県産中心の入荷でした。高温等の影響により販売状況が悪く、単価が前年を下回る結果となりました。数量はやや増加し、平均単価はやや安く推移しました。	516	147	110%	90%
6	果 実	も も	入荷の遅延や少雨による小玉傾向、開花期の天候不順などの影響で、数量は前年を下回る結果となりました。数量は減少、平均単価はやや高く推移しました。	41	956	82%	109%
7		メ ロ ン	高温や少雨の影響で数量は前年を下回りましたが、他の果実の数量が少なかった影響で単価は前年を上回りました。数量はかなり減少、平均単価はやや高く推移しました。	220	480	77%	112%
8		桜 桃	開花時の天候不順による影響で、数量は前年を下回りました。数量はかなり減少、平均単価はかなり高く推移しました。	20	3,198	77%	123%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上